

令和元年度「嬉野市かがやき大学」第3回講演会

令和元年6月10日(月) 9:30~10:30

於: 嬉野市社会文化会館(リパティ)

講師 NHKのだ自慢チャンピオン 的野 勝 氏

演題 「歌で健康づくり」



的野様のエネルギッシュで、美しい歌声とユーモア溢れる語り口に聴衆の皆さんも惹きこまれ、過ぎ去りし日々の懐かしさを持って聴かれているようでした。

現在の社会を取り巻く現状には、この片田舎でも様々な課題があります。少子高齢化に伴う山間部の衰退や介護の問題、経済の低迷による年金や福祉の問題、交通事故の多発など、ネガティブな面がクローズアップされている感があります。誰も少なからず不安を持っている状況です。

そういう中で、演題「歌で健康づくり」のご講演によって、聴衆の方々は勇気づけられたことと思います。歌の魅力とその影響力には絶大なるものがあると気づかされました。人の心を癒し、前向きに生きる活力を授けてくれるものでしょう。

冒頭に話された「『わあーと大げさに驚く』ことが大事、豊かな感性が健康寿命を延ばす。」まさに的野様のような澆刺とした若さの秘訣でしょうか。今は子供も大人も確かに感動することが少なくなっていると思います。皆さん共感されていました。

また、童謡については皆さんたいへん楽しく和やかな表情で歌っておられました。「鯉のぼり」「七夕」「もみじ」「青い目の人形」「どんぐりころころ」など、幼少の頃の郷愁に浸っておられるようでした。確かに歌詞は忘れない、覚えているものです。子供の頃に童謡を歌うことは価値のあることだと改めて思いました。

最後の「人生ごよみ」は、夫婦の愛の歌でした。金婚式を迎えられた的野様のように、皆さんも互いに感謝する気持ちを持たれているようでした。